

[活動報告]

日本機械学会 2024 年度年次大会 市民フォーラム[C191] モデルロケット教室

開催概要報告

工学院大学
齊藤亜由子

開催日：2024年 9月8日（日）8:45～12:40

会場：愛媛大学城北キャンパス（打上げ：松山市立東雲小学校グラウンド）

参加人数：小学生 8 名，保護者 8 名，スタッフ 10 名

主催：一般社団法人日本機械学会 宇宙工学部門・技術と社会部門

共催：信州大学航空宇宙システム研究拠点，SUWA小型ロケットプロジェクト

後援：松山市教育委員会

松山市内の小学校5・6年生を対象に実施した本企画では、会場である愛媛大学城北キャンパス近隣小学校へ直接チラシを送付する広報活動を行い、チラシ配布開始の初日から一両日中に参加定員10名の申込があった。

開催当日は2名の欠席者があり、小学生8名，保護者8名が教室に参加した。モデルロケットの講演は中山昇氏（千葉工業大学）が講師を務め、その他主催者等10名（愛媛大学，香川大学，信州大学，工学院大学，神戸市立神戸工業高等専門学校，琉球大学，東海大学）がモデルロケットの製作補助を行った。

モデルロケット製作後は打上げ会場の東雲小学校グラウンドへ移動しモデルロケットの打上げ体験を行った。参加者は各自のモデルロケットを発射台へ設置し、「発射準備完了，低空飛行物体なし，点火5秒前，4，3，2，1，点火！」の掛け声に合わせて発射ボタンを押した。すべてのモデルロケットが無事に打上がり，参加者らの笑顔と共にモデルロケット教室を無事終えることができた。

最後に，大変有意義なロケット教室となりましたこと，あらためて講師の中山先生をはじめ当日ご指導にあたってくださった先生方，準備にご尽力いただいたWG委員の皆様へ深く感謝いたします。そして，現地での教室・打上げ場所等細かな調整をしてくださった年次大会実行委員会の皆様，東雲小学校の皆様がこの場を借りて御礼申し上げます。

なお，本企画は2024年度 日本機械学会 分野連携企画（No. 72）および2024年度機械工学振興事業資金「メカライフ振興事業」の助成を受けて実施しましたことを申し添えます。

【参加者アンケート結果（一部紹介）】

（子供たちからのコメント）

- ・経験と照らし合わせた説明が良かった。
- ・ロケットを作らせてくれたことが良かった。
- ・組立が追い付かない時教えてくれたことが良かった。イマジネーション的な考えが面白かった。
- ・ロケットの始まりを知れた。
- ・130m飛ぶエンジンをつけてやりたい。

（保護者からのコメント）

- ・映像でもロケットの様子を見せていただいたので、モデルロケットに対してもより興味が湧いた。一人ずつ発射するときに仲間が声をかけてくれるのが良かった。最後のパワポの言葉が心に残りました。
- ・ロケット工学の話は子供にもとても分かりやすくロケットがどうして飛ぶのかよく分かったようです。ロケットの材料の準備が素晴らしく、貴重な体験ができました。
- ・難しかったです。ざっくり仕組みなどが知れてよかったです。
- ・実際に参加して準備していただいた材料を見ると参加費を払う価値が良く分かるが、申込前に参加費がいくらかかるということだったら申込したかは分からない。
- ・単純に自分の手で組んだものが動く（飛ぶ）ことに驚いていた。この「飛ばす」という一瞬貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <https://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.50

(C)著作権:2024 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門